

「JSB新規事業創出プログラム2023」の実施と参加企業4社の決定について

JSB：十八親和銀行の略称

株式会社十八親和銀行（取締役頭取 山川 信彦）は、KPMGジャパン（共同チェアマン 山田 裕行、知野 雅彦）と連携し、新規事業の創出や長崎県の地域課題を解決する「JSB新規事業創出プログラム2023」を、昨年引き続き実施します。

本プログラムは、長崎県内の地域中核企業とスタートアップ企業がオープンイノベーション（※）により連携することで、革新的ビジネス、および新たなサービスの創出を目的としており、十八親和銀行およびKPMGジャパンが事業プランの策定からスタートアップとの協業案の実証実験まで、一気通貫でサポートいたします。

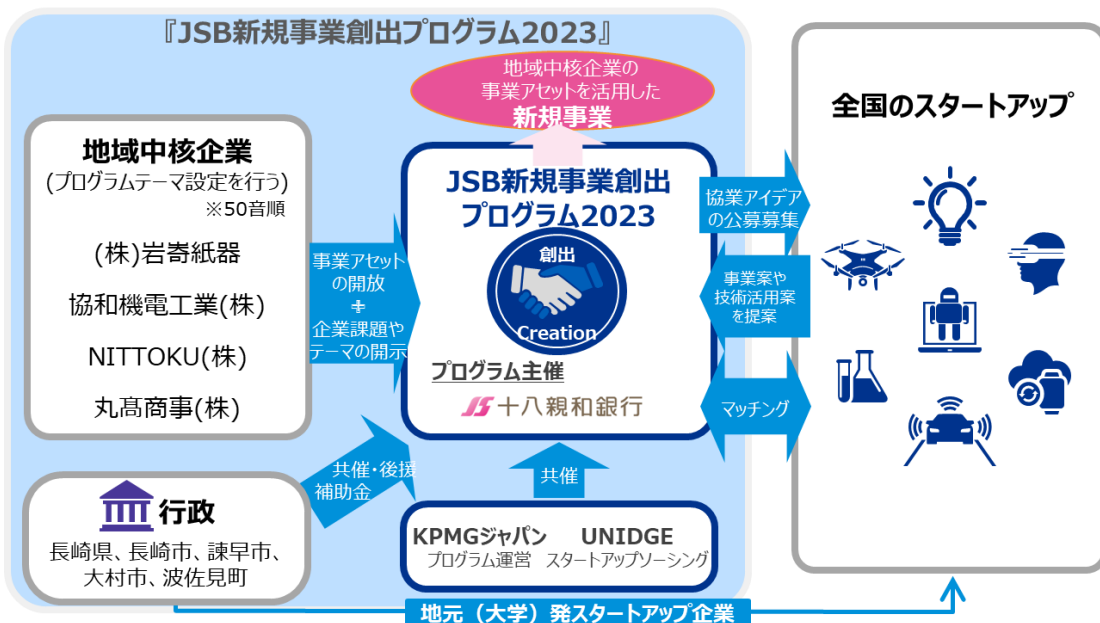
また、本プログラム実施にあたり、下記の参加企業4社と関係者によるキックオフミーティングを10月24日に開催し、約9か月間に渡るプログラムをスタートさせます。

十八親和銀行は、各種機関、行政等と連携して、長崎県における新規事業創出の機運を高め、今後も地域経済活性化を後押しして参ります。

※自社の経営資源等と他社の技術やアイデアなどの資源の流出入を活用しイノベーションを創出すること。

『JSB新規事業創出プログラム2023』概要

名称	JSB新規事業創出プログラム2023
主催	株式会社十八親和銀行
共催	KPMGジャパン
協力	株式会社ユニッジ
後援	長崎県、長崎市、諫早市、大村市（予定）、波佐見町
参加企業	株式会社岩寄紙器 協和機電工業株式会社、NITTOKU株式会社、丸高商事株式会社 ※50音順
目的	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 長崎県内企業の新事業創出と新規事業創出のスペシャリストの育成 ▶ 長崎県におけるオープンイノベーションの活性化
内容	十八親和銀行が主催する本プログラムを通して、長崎県の地域中核企業4社が実効性のある新規事業創出を目指し、多くの新規事業創出支援実績のある株式会社ユニッジがソーシングするスタートアップに対し協業依頼を行い、協業案の事業化に向けてKPMGジャパンが伴走することで、地域課題や地域中核企業の経営課題の解決に取り組むもの。
期間	2023年10月24日（火）から約9か月間



《 本件に関するお問合せ先 》

事務局：十八親和銀行 地域振興部 担当：山下・浜里 TEL 095 - 827 - 8609